

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

平成21年6月16日安全対策調査会
資料8-1-5

平成21年6月3日タミフル臨床WG
資料6-1-5

No.	性別・生年	年齢	投与量	投与剤	副作用	経過	経過の概要	経過	経過	
1	B-07023214	女性	3日	20 mg		痙攣	回復	母親が出産直前の5日間、ザナミビル水和物を服用。女児を出産後、日齢3日で退院したが、痙攣が起ることで日齢6日目、入院。フェノバルビタールを投与された。その後、回復した。	異常以外-1	08/04/01以降追加報告
2	B-08026002	男性	5歳	投与量不明		譫妄 異常行動	不明 不明	ザナミビル水和物2回吸入後にうわごとを言ったり、手足をばたつかせた。		08/04/01以降新規報告
3	B-08026099	女性	5歳	投与量不明		泣き 多汗症 熱性痙攣	不明 不明 不明	ザナミビル水和物2回目吸入2時間後、泣き叫び、目は焦点が合わず、白目のような状態、体をそり返す体勢となり、大量発汗。病院受診し、「熱性けいれんだらう」と診断された。翌日、担当医に、インフルエンザの熱でできた症状だらうと言われた。その後は何もなかった。		08/04/01以降新規報告
4	B-08027854	男性	5歳	20 mg	カルボシステイン ヒペンズ酸チペピジン 塩酸プロカテロール アジスロマイシン水和物	幻覚	軽快	体温37.7度、咳が見られ、アジスロマイシン水和物等を服用開始。翌日、体温39.2度、頭痛、気持ち悪いとの症状あり、再受診し、A型インフルエンザと診断され、アジスロマイシン水和物を中止し、ザナミビル水和物処方。服用1日目、朝、本剤吸入後、就寝。本剤吸入約3時間後、体温40度、ふとんを拭く動作を繰り返し、「いなくていい」と言っていた。服用5日目、終了。		08/04/01以降新規報告
5	B-08029430	男性	5歳	20 mg		異常行動	回復	インフルエンザにてザナミビル水和物処方。同日、服用開始。服用3日目、寝ている時に母親の首をしめる。5分程続くが、元に戻る。服用4日目、同様の行動を取ったので医師に連絡。		08/04/01以降新規報告
6	B-08030552	女性	5歳	20 mg		幻覚	不明	ザナミビル水和物5日分処方。服用開始後、。幻覚あり(1回のみ)。本剤中止せず、5日間服用。		08/04/01以降新規報告
7	B-07004632	女性	6歳	20mg	ヒペンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキソール アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断し、ザナミビル水和物処方。翌日夜間、臥床していて突然笑い出し、約5分後に落ち着いた。	異常以外-2	
8	B-08026098	女性	6歳	投与量不明		異常行動 幻覚	不明 不明	目つきがふだんと違い、寝ているとき突然目を開いて、クスクス笑い出したり、泣いたりし、幻覚あり。抗生剤は、クラリスロマイシン服用中。対処は別に何もせず、少し話しかけあやした。		08/04/01以降新規報告
9	B-08026175	男性	6歳	20 mg	アセトアミノフェン	譫妄	回復	ザナミビル水和物服用1日目、本剤2回吸入後、夕方、時々「怖い、怖い」と数回うわ言を言う。以後はなし。服用5日目、インフルエンザ改善したため、本剤終了。		08/04/01以降新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	患者番号	性別	年齢	用量	投与回数	副作用	経過	経過	経過	経過
10	B-08026809	男性	6歳	20 mg		異常行動	回復	発熱があり受診。インフルエンザAと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼過ぎ、就寝前、本剤吸入。体温38℃。就寝後、目が覚めると布団の縫い目をなぞる、イスをひいて動かすといった行動が発現。また、聞き取れない言葉を言う。異常行動は約1時間継続し、様子を観察。以降の本剤中止。 服用開始から2日目、体温38℃。救急外来受診。来院時は意識清明。同日、深夜、目が覚めると、言動がいつもと違う状態。 服用開始から3日目、救急外来受診。意識清明。以後は発熱なく、異常行動もなし。		08/04/01以降 新規報告
11	B-08026968	女性	6歳	10 mg		幻覚	不明	インフルエンザのため、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。本剤1回目吸入約2時間後、および5時間後に幻覚発現。指を指して「大きい大きい……」と言って、見えないのものが見れたり、沢山食べ物が並んでいるように見えて、「沢山食べられない」と言う。食べろ食べろと言われるようで、恐れおののいているようであった。その後はずっと熟睡。 服用開始から2日目、平熱に戻った。		08/04/01以降 新規報告
12	B-08029982	男性	6歳	10 mg		意識レベル の低下	軽快	受診し、インフルエンザ検査行っても陰性。しかし、40℃の発熱あり、可能性高いため、ザナミビル水和物処方。同日服用開始。昼、本剤吸入約2時間半後、嘔吐、顔面チアノーゼ発現。眼球は上をみつめるようであり、手足はちぢこまったようであった。意識レベルは痛み刺激にわずかに反応あるのみで、呼びかけには応じなかった。傾眠傾向続いた。頭部CTで異常なく、血液検査で炎症所見が軽度上昇。髄液検査異常なく、脳波では高振幅徐波あり。入院。抗生物質投与にて解熱。 服用開始から2日目、意識清明。入院日の記憶なし。本剤終了。 服用開始から4日目、頭部MRIにて異常所見なし。 服用開始から5日目、再度脳波検査行っても、異常所見なし。		08/04/01以降 新規報告
13	B-06026797	男性	7歳	20 mg		異常行動	回復	ザナミビル水和物投与開始。使用5時間後、異常言動発現し、5分程度で回復。	異常以外-4	
14	B-07000723	男性	7歳	5 mg		異常行動	回復	ザナミビル水和物を吸入1時間後、視線合わず「ドアを開いてミックスしろ」など異常言動出現。投与4時間後、同様の症状あり、入院。翌朝、症状消失し、意識回復。	異常以外-5	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	例番号	性別	年齢	投与量	処方薬	症状	経過	経過の概要	経過の経過	経過の経過
15	B-08026272	女性	7歳	投与量不明		譫妄 異常行動 刺激無反応	不明 不明 不明	本剤1回目吸入がうまくできず、2回目はまったくできなかった。 その後、約5時間、1時間おきくらいにうわごとや急に笑い出し、こないでやめると言っていた。目を開いているが声をかけても反応なし。		08/04/01以降 新規報告
16	B-08028846	男性	7歳	20 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキソール ツロブテロール	幻覚 幻視	回復 回復	ザナミビル水和物は受診日から2日間服用。 受診後、幻覚・幻視が発現したが、2日後、解熱し、症状消失。		08/04/01以降 新規報告
17	B-08029312	男性	7歳	10 mg	アセトアミノフェン フェンゾ酸クロベラスチン カルボシステイン クラリスロマイシン ツロブテロール	幻視	回復	ザナミビル水和物服用1日前、気管支炎の診断にて、抗生物質等処方。 同日、夜、発熱あり、アセトアミノフェン服用。 翌日、昼、ザナミビル水和物及びアセトアミノフェン服用。体温37℃。発汗して解熱傾向となり、入眠。 睡眠時、異常行動が発現(数分間継続)。呼びかけると反応はあるが、天井を見上げたり、凝視したり、泣き出しそうな顔つきをする等の行動であった。特に何もせず様子観察。本剤は1回吸入のみで終了。		08/04/01以降 新規報告
18	B-08029579	男性	7歳	5 mg		痙攣 譫妄	軽快 軽快	ザナミビル水和物服用1日目、夜、体温39.0℃。本剤吸入5分後、口からアワを吹いてビクビクとした。その後、意味不明の言動が発現。約100分間継続。自宅では特に対応はなし。事象発現約30分後、来院。来院時、意識清明であり、検査のため入院。本剤中止。 服用開始から2日目、脳波所見:高振幅徐波パターン等あり。		08/04/01以降 新規報告
19	B-08030077	男性	7歳	20 mg	アセトアミノフェン	幻覚	回復	ザナミビル水和物服用1日目、朝、夕、本剤吸入。 服用2日目、朝、本剤吸入後、携帯ゲーム機にて、ゲームをしていたところ、その画面にすいこまれる感じが発現。昼過ぎ、テレビの画面に吸いこまれる感じが発現。 服用3日目、本剤吸入後、テレビの画面に吸いこまれる感じが発現。本剤終了。 服用開始から4日目、異常なし。		08/04/01以降 新規報告
20	B-08030943	男性	7歳	20 mg	非ピリン系感冒剤(5) 塩酸エピナスチン クラリスロマイシン カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	37.6℃の発熱あり、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、体温40℃。本剤2回目吸入約1時間後、睡眠していたところ、急に起き上がって天井を指さして意味不明の言葉を発し、両手を広げ母親を迎え入れる仕草をする。5分間位持続。その直後、体硬直。 服用5日目、インフルエンザ改善により本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
21	B-06026558	女性	8歳	20 mg		異常行動	回復	B型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物を処方。服用1時間半後、目を覚まし、急に笑い、左手を握りしめ、腕が伸び切った肘が曲がらないような状態であった。母が尋ねても返答せず。目は焦点が定まっていなかった。	異常以外-6	
22	B-06026796	男性	8歳	10 mg	リン酸オセルタミビル	異常行動	回復	ザナミビル水和物投与開始。使用3時間後、異常言動発現し、5分程度で回復。	異常以外-7	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	薬剤名	性別	年齢	投与量	副作用	経過	対応	経過	経過
23	B-07000630	女性	8歳	10 mg		血管迷走神経性失神	回復	B型インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物投与練習のため、デモンストレーションキットを2プリスト吸入した直後、顔色不良となり、眼球上転させながら、後方へ転倒した。10-15分で回復。	異常以外-8
24	B-07024061	女性	8歳	20 mg		譫妄	回復	服薬1日目、A型インフルエンザと診断、ザナミビル水和物を処方。昼・夕方、本剤吸入。2回目吸入1時間後、家族と会話が成立せず、的外れな言動を認める様になった。夜、受診。興奮し幻覚も認められて、せん妄状態と診断。体温39.6度 服薬2日目朝、自然に覚醒し、少しボーっとした感じはあるもののせん妄消失し、受け答えもきちんとできる様に回復した。 服薬6日目、インフルエンザ改善によりザナミビル水和物投与終了。	異常以外-9
25	B-08026177	男性	8歳	10 mg		意識変容状態	回復	インフルエンザ診断キットにてB型に陽性反応にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼頃、体温39.4℃。本剤初回吸入。約1時間半後、一点をみつめ開眼したまま、焦点が合わない。片手をタクトをふるような行動を繰り返す。持続時間は15分位であり、救急車にて入院。頭CTは異常なし。痙攣(熱性痙攣)なし。 翌日、退院。	08/04/01以降新規報告
26	B-08027528	男性	8歳	20 mg	フマル酸ケチフェン 臭化水素酸デキストロトルファン カルボシステイン	幻聴 幻覚	回復 回復	簡易検査でA型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用2日目、早朝、怖い夢の幻覚と幻聴を訴えて起き、「部屋を出て行く」と訴えた。しばらくしてから再度就寝。朝、本剤吸入。午後、幻聴発現。父親から症状を聴取し、速やかに本剤中止を指示。その後、同様の症状の発現なし。 服用開始から4日目、午前中、体温36.5℃。会話に異常は認められず、特に行動にも異常は認めていない。	08/04/01以降新規報告
27	B-08027855	不明	8歳	投与量不明		譫妄	不明	ザナミビル水和物初回吸入3時間後、うわごとを言った。本剤吸入2回目数時間後、うわごとを言った。熱は下がった。	08/04/01以降新規報告
28	B-08027857	男性	8歳	10 mg		幻覚	回復	38℃の発熱、咳にて来院。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入約15分後、「人が見える」と幻覚が発現。本剤中止。同日症状は回復。	08/04/01以降新規報告
29	B-08027951	女性	8歳	10 mg	UNKNOWNDRUG	異常行動 意識変容状態	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日前、体温39℃。 翌日、受診し、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。昼、本剤吸入約1時間後、目を開いて大声で叫び、尿失禁し、救急搬送。病院到着時、体温39.4℃。メクロブラミド等にて治療開始し、症状改善。	08/04/01以降新規報告
30	B-08027959	男性	8歳	投与量不明		幻視	不明	体温39度。翌日、屋よりザナミビル水和物吸入。同日夜、「数字が浮かんで見える」等の発言をしだした。	08/04/01以降新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	例示番号	性別	年齢	一日用量	処方薬	症状	経過	経過	経過	経過
31	B-08028091	男性	8歳	20 mg	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チベジン	異常行動 痙攣 意識レベル の低下	回復 回復 回復	体温40度、咽頭痛、咳あり。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物等処方。服用1日目、夕方、本剤吸入後に痙攣様のふるえが発現(十数秒間)。その際、意識が朦朧としていた。体温約40度。服用2日目、朝、本剤吸入後、「カーテンの向こうに人がいる」といったり、祖母が誰だか分からない状態で、呼びかけにも反応せず指を空に示したりした(十数秒間)。微熱あり。		08/04/01以降 新規報告
32	B-08028510	女性	8歳	投与量不明		意識消失 中期不眠症 激越	不明 不明 不明	夜、発熱してザナミビル水和物吸入開始した。服用2日目、インフルエンザB型と診断。トイレにたつときにいつもと違う様子で気を失った。服用3日目、平熱。同日は、1回のみ吸入。また、発現日不明であるが、熱が下がってからも夜中に目が覚め、興奮気味であるとのこと。		08/04/01以降 新規報告
33	B-08030075	女性	8歳	20 mg	セフジトレニボキシル フマル酸クレマスチン ヒベンズ酸チベジン	幻覚	回復	ザナミビル水和物服用1日前、38.5℃の発熱あり、受診。インフルエンザ検査陰性にて、抗生剤等を処方。翌日、38.9℃と発熱続き、再受診。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入。夜、幻覚症状(変なことを話す)が発現し、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
34	B-08030669	男性	8歳	投与量不明		譫妄	不明	ザナミビル水和物服用中、夜、うわごとが発現。		08/04/01以降 新規報告
35	B-08031331	女性	8歳	20 mg	硫酸サルブタモール 塩酸プロムヘキシシ セラペブターゼ	幻聴 眼振 振戦 視力低下(+) 恐怖	回復 回復 回復 回復 回復	体温38.6℃あり。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼、本剤吸入約10分後、目が横に揺れる、目が回る、横に寝かせても目が揺れる、体を起こすと体が揺れる、といった症状が発現。症状発現約10分後、就寝し、目が覚めると正常だった。夜、本剤吸入直後に就寝。吸入約1時間後、ものが小さく見える、こわい、(実際は話していないのに)父が大声で話しているという。目の動きなし。興奮してしゃべっている様子。体温38℃。症状発現から約10分後、就寝。異常行動発現時の記憶はいずれもあり。服用2日目、朝、体温36.8℃。異常なし。服用6日後、インフルエンザ改善により本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
36	B-08032241	女性	8歳	20 mg	ドンペリドン セフジトレニボキシル ラクトミン	異常行動 譫妄 泣き	回復 回復 回復	39℃の発熱にて、受診。同日、ザナミビル水和物服用開始。昼、本剤初回吸入約1時間後(入眠から数十分経過後)、突然覚醒して開眼はしているが、視線が合わず、意味のわからないことを言う、視線が合わないまま泣く(5分間)といった異常行動が発現。事象発現20分後、救急車到着するも、意識がもどり母や救急隊の質問に答えた。服用3日目、朝、体温36℃と解熱。本剤終了。服用開始から4日目、5日目、6日目、7日目、就寝約2時間後、突然上半身起こしてうわ言を言ってから寝るといった行動(5分位)が連日発現。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

症例No.	性別	年齢	投与量	薬剤名	症状	経過	経過	経過	経過	経過
37	B-06001696	女性	9歳	投与量不明		浮動性めまい	軽快	インフルエンザ迅速検査陰性であったが流行があったため、インフルエンザとしてザナミビル水和物投与。投与開始11日目、歩行時のふらつき、嘔吐出現。投与開始12日目、救急外来受診。頭部CT施行し異常なし。投与開始13日目、歩行時のふらつき変りなし。頭部MRI施行。眼振を認めたため、耳性めまいの診断で入院。右注視眼振を認め、聴力は正常であったが、経過から前庭神経炎を疑い、点滴加療により徐々に症状改善。	異常以外-11	
38	B-06026675	男性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	強直性痙攣 異常行動 頭痛	軽快 軽快 軽快	B型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物投与開始。使用1時間半後、アセトアミノフェン服用。その30分後、突然両前腕の強直性伸屈と共に意味不明な言葉を発した。両眼は開眼し、視点は定まらず。一時軽快するも、再度短時間の同様のエピソードを生じる。その後は、薬剤を中止し、再発なし。	異常以外-12	
39	B-07000536	男性	9歳	20 mg	塩酸ツロブテロール カルボシステイン 塩酸アンブロキシール	低体温 意識レベルの低下	回復 回復	B型インフルエンザの診断。軽度喘鳴あり。投与1日目、2日目の夜、体温が約35度まで低下し、意識混濁状態となった。投与3日目の夕、投与中止し、夜より低体温、意識状態の悪化は見られず。	異常以外-13	
40	B-07023276	男性	9歳	20 mg		譫妄 筋骨格硬直 ジスキネジー 眼瞼痙攣	回復 回復 回復 回復	服薬1日目、ザナミビル水和物10mg吸入。服薬約4時間後、了解不能な日本語の羅列。眼の焦点が定まらない。排尿直後に排尿したことを忘れている。3-5分で正気に戻る。大量に発汗。夕方、体温39.4度。早口で数を数える。途中からろれつが回らなくなる。手を出して大きくふる動作。焦点は合わない。母がトイレに連れて行く。便座を指差してぐるぐる回す。便座に座って母に「あげるよ」と言う。3-5分で正気に戻る。布団に戻り「あーっ、暑かった」。晩、腹臥位で寝ていて左手がもぞもぞ動く。眼瞼がピクピクする。覚醒して「母ちゃん元気、母ちゃん元気」とすごい勢いで繰り返す。背中をこすると「やだー」と叫ぶ。目を見開き、手に力が入ってこわばる。5分程して「大丈夫、平気、大丈夫、平気」と棒読みで繰り返す。会話をすることが合わない。「先生すごいな」。15分後に正気に戻る。母を認識し、入眠する。入眠して約1時間半後、日本語だが意味不明なことを言う。体に力が入っている。2-3分で救急車要請。体温38.5度。服薬2日目、回復。	異常以外-14	
41	B-07023278	男性	9歳	投与量不明		異常行動	不明	ザナミビル水和物1回しか吸入していないが、わーっと言って起き上がったり、暴れたりしている。	異常以外-15	
42	B-07024762	男性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動 悪夢	回復 回復	服薬1日目、ザナミビル水和物吸入。夜間、床に頭を打ちつけた。服薬2日目、異常行動はその後、発現なし。	異常以外-16	
43	B-08019833	男性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン ヒベンズ酸チベピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼頃、本剤1回目吸入。約2時間半後、「部屋が大きいよー」泣き出し、寝ていたのが起き出してしまったので、しばらく親が横に添い寝する。副作用発現時、体温は39.5℃。アセトアミノフェン服用。服用5日後、インフルエンザ改善により、本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
44	B-08025748	男性	9歳	投与量不明		譫妄	不明	ザナミビル水和物吸入。約4時間後、うわごと、訳の分からないことを言った。1時間ごとにうとうとうわごとを言っていた。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性別	年齢	一日用量	服用薬	副作用	経過	経過の概要	経過の経過	経過
45	B-08026001	男性	9歳	投与量不明		幻覚	不明	幻覚らしきものがあった。(ザナミビル水和物を使用する前にもあったので、おそらくインフルエンザの高熱の為に起きた症状だと思われる。)		08/04/01以降 新規報告
46	B-08027292	女性	9歳	投与量不明	フマル酸クレマスチン ヒベンズ酸チベピジン 塩酸アンブロキソール ソロブテロール	幻覚 異常行動 浮動性めまい 悪心	不明 不明 不明 不明	ザナミビル水和物処方され、同日、服用開始。昼、本剤1回目吸入後、特に異常なし。夜、2回目吸入約20後、おびえだし、めまい、はきけ、高いところから落ちていく感じがする、テレビのはじや天井に落ちていく先が見える、テレビをぼんやりと眺めて内容を見ていない等の症状を訴える。体温39℃。 医師に相談の上、これらの症状は熱によるものと判断され、本剤の服用継続を指示される。 服用2日目、熱は37℃までさがり、その後はこのような症状は無い。 服用4日目にて本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
47	B-08029025	男性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動 痙攣 筋骨格硬直	回復 不明 不明	インフルエンザ発症にて、ザナミビル水和物処方。 服用4日目、目は開いているが焦点が合っていない、叫ぶといった症状が発現。 服用5日目、硬直、痙攣が発現。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
48	B-08030076	男性	9歳	10 mg		意識消失	回復	37.4℃の発熱あり、受診。キットにてインフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。午前中、本剤吸入約30分後、意識消失が発現。体温38.3℃。事象発現約20分後、救急車にて来院。事象発現約35分後、意識消失は回復。開眼するもやや不穏状態で会話不能のため、転院。脳炎の疑いのため入院し、インフルエンザ脳炎と診断される。		08/04/01以降 新規報告
49	B-08030250	女性	9歳	20 mg	塩酸フェキソフェナジン ブランルカスト水和物 ソロブテロール	意識消失	回復	キットにて、インフルエンザB型と診断。診断翌日、ザナミビル水和物服用開始。夕、本剤吸入し、トイレに行く途中に意識消失、失禁が発現。母にたたかれて意識回復。その後、小児科にかかったが、意識消失発作以外に特に有害事象なし。 服用5日目、インフルエンザ改善により、同日吸入し、以降、本剤は終了。		08/04/01以降 新規報告
50	B-08031647	男性	9歳	20 mg		幻視	回復	詳細不明		08/04/01以降 新規報告
51	B-07022683	女性	10歳	20 mg		異常行動	回復	服薬1日目、インフルエンザAと診断、ザナミビル水和物吸入。晩、母の問いかけにうまく反応できず、何か変なことが起こっていると訴える。その後当院の救急外来を受診し、入院となる。意思の疎通ができない。異常言動発現によりザナミビル水和物中止。 服薬中止1日後夜、「殺せー。ばかやろー。」と暴言を吐く。ベッドの上で飛び跳ねるなどの言動あり。 服薬3日目、通常に戻っている。同日退院。	異常以外-17	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	薬剤名	性別	年齢	用量	成分	症状	経過	経過	経過	経過	経過
52	B-07023275	男性	10歳	20 mg	ヒベンス酸チベピジン カルボシステイン トラネキサム酸 アセトアミノフェン ツロブテロール	異常行動	軽快	前日夕方より、発熱39度。寝ていて目が覚めると自分では動かそうとしていないのに体が勝手に動く。 服薬1日目昼、ザナミビル水和物処方。夜、ザナミビル水和物吸入。寝ているときに目を覚ますが、自分の手の影を見て、「あれ見て!」、ニコニコと笑いながら「楽しみだなあ、どんな色にしようかなあ」等意味不明なことをはっきりと話す。 服薬2日目朝、ザナミビル水和物吸入。昼に寝ていると、以前と同じように体が勝手に動き少しパニックに。トイレに行くときと落ち着いた。夜、寝ていても一時間毎に怒ったようなうなり声や叫び声を出し、起き上がり、ペソをかくことも。夜中には落ち着く。 服薬3日目朝、朝なかなか起きられず、目を白目をむくようにあけるのだが、起きられず。いびきのような寝息をたて、寝てしまう。昼は、昼寝もなしのため異常なし。夜、寝ていて咳をするたびに怒ったようなうなり声や叫び声を出して、時には「いやだ!!やめてくれ!!」と言ったり、布団を蹴って暴れたりする。起き上がって座り、泣くことも。 服薬4日目夜、体温36.5度。咳をよくするが、起きたり叫ぶ事なく寝る。	異常以外-18		
53	B-07025713	男性	10歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動 幻覚	軽快 軽快	服薬1日目、インフルエンザ迅速診断でA型(+)、ザナミビル水和物処方。昼、本剤吸入。2回目の吸入後、4回意識が朦朧となり母親がわからなく、呼名に対しても反応がなかった。1分間位で母親が話しかけ意識回復したが、その時の体温は39-40度と高熱でなかなか眠れず開眼して意識がボンヤリした状態であった。夜半 体温40度。意識もうろうとなり、幻覚出現(戦争で戦っている人が見えた。母親が友人の父親に見えた)。深夜、救急病院受診。入院。頭部CT検査など異常なし。以後使用中止。	異常以外-19		
54	B-07026749	女性	10歳	20 mg	ヒベンス酸チベピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	痙攣	回復	服薬1日目、インフルエンザのためにザナミビル水和物処方。 翌日、痙攣が発現した為に当院に搬送され入院。本剤中止。 服薬中止2日後、痙攣回復。	異常以外-20		
55	B-07028196	男性	10歳	20 mg		異常行動 精神症状	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日目、朝、本剤1回目吸入。夜、体温38.5℃。本剤2回目吸入後、横になって寝ていたり、目を覚ましたり、を繰り返している状態。2回目吸入後約4時間後、体温39.4℃。父、母からの呼びかけに対して「僕ってだれ?」「僕の名前がわからない」という発言を繰り返す。母の「私(母親)の事がわかる?」という問いかけに対しても、「誰がいるのか分からない」と返答。同様に、父親の顔もわからない、知らないを繰り返す。手は小刻みに震えていたような感じがみられた。 2回目吸入4時間40分後、通常の意識に戻る。本人が「水が飲みたい」と主張し、水分をとり、トイレにも行き、そのあと就寝。関節の痛みのために、立ち上がったときの補助はしたものの、それ以外の動作はいつもどおり自分ひとりで済ませる。 服用2日目、朝、体温不明。昨夜の事は何もなかったように朝を向かえ、その後、異常言動はなし。本剤継続したが、問題行動などはなし。	異常以外-21	08/04/01以降 追加報告	
56	B-08026727	不明	10歳	投与量不明		譫妄	未回復	ザナミビル水和物服用1日目、昼、夜、本剤吸入。夜中、うわごと発現。 服用2日目、医師に相談し、本剤は使い続けるようにということで、本剤は中止せず。昼頃、熱は37.3℃に下がったが、まだうわごとを言う。		08/04/01以降 新規報告	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	薬剤名	性別	年齢	用量	成分名	症状	経過	経過	経過	経過
57	B-08026806	女性	10歳	20 mg	リン酸ジメモルファン カルボシステイン アセトアミノフェン	幻覚	回復	38.8度の発熱、頭痛、咽頭痛、咳、めまいがあり、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用2日目、本剤吸入から20～30分後、体が熱く、ふとんが重く感じ「ふとんが燃えている」との訴えあり。(その後服用3日目までの計3回の吸入直後に、同様の発言した。)自分のふとんだけが熱く燃えている、重いと言って、他の兄弟のふとんをはぎとり自分にかけて寝たとのこと。 服用4日目、解熱。		08/04/01以降 新規報告
58	B-08027291	男性	10歳	20 mg		幻聴	回復	体温38.3℃。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。昼、本剤吸入。夕食前より、恐いなど言い出した。本剤2回目吸入。夜間、就寝時、幻聴が聞こえ恐いと言うなど精神症状あり。幻聴が強くなった。 服用2日目、朝、異常なし。幻聴はなく、インフルエンザの症状も軽くなったとのこと。		08/04/01以降 新規報告
59	B-08027376	男性	10歳	20 mg	クラリスロマイシン テオフィリン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱のため受診し、ザナミビル水和物、クラリスロマイシン、テオフィリン、アセトアミノフェン処方。同日、服用開始。 服用2日目、朝、夕、本剤吸入。夜間、寝ていたが、急に手でバタバタと床をたたき出し、呼びかけても目線はあわず、フラフラと歩く行動が発現。救急要請。事象発現約8分後、救急車到着時には、意識清明。病院へ搬送後、インフルエンザA型と診断され、経過観察目的で入院。 服用3日目、朝、本剤吸入。昼過ぎ、意識清明であり、退院。		08/04/01以降 新規報告
60	B-08027957	男性	10歳	20 mg	非ピリン系感冒剤(4) ツロブテロール アズレンスルホン酸ナトリウム	幻覚 異常行動	軽快 軽快	咽頭痛、鼻水、咳あり、受診。体温36.9度。その後、熱発、頭痛あり再受診。体温38.4度。インフルエンザA型陽性と診断され、ザナミビル水和物処方。同日朝、本剤初回吸入後、就寝。同日昼過ぎ、突然起き出し、幻覚(何かが見える、おびえる)といった症状が発現。数分で軽快。同日夕方、本剤吸入2回目、体温36℃台。本剤吸入約5時間半後、深夜、突然起き上がり、目の焦点が合わないといった症状が発現。5分程度で軽快。 服用2日目、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
61	B-08027958	男性	10歳	20 mg	塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン ヒベンズ酸チベピジン	浮動性めまい 血圧低下 ジスキネジー 意識変容状態 蒼白 チアノーゼ	回復 未回復 記載なし 記載なし 記載なし 記載なし	インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物処方。 同日、本剤吸入時にめまい、ふらつき、体をビクビクさせる動きが発現。もうろうとした状態、顔面蒼白、口唇チアノーゼ認めるも、その後回復。約2時間後、再度ふらつき、めまいが発現し、救急搬送され、緊急入院。頭CTでは明らかな異常なし。 3日間入院し、改善みられ退院。		08/04/01以降 新規報告
62	B-08029314	男性	10歳	20 mg	アセトアミノフェン	譫妄 振戦	不明 不明	ザナミビル水和物服用2日目、朝、本剤吸入後、体温39℃で、うわごと、ふるえが発現。		08/04/01以降 新規報告
63	B-08031642	女性	10歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸アンブロキシオール	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、夜、本剤吸入約2時間後、「熱い」「足がかゆい」と言って起きてくる。30分おきに約5時間症状が継続。 服用2日目、朝、本剤吸入したが、昼間は日常と変わらず。夕、本剤吸入。体温37℃。夜、昨夜と同様の行動を3、4回繰り返す。 服用3日目、朝、医師の指示により、本剤中止。夜、異常なし。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

例	性別	年齢	投与量	投与薬	症状	経過	経過	経過	経過	経過
64	B-06026798	男性	11歳	20 mg	セフジニル 葛根湯 セラベプターゼ ヒペンズ酸チペビジン	異常行動	回復	ザナミビル水和物投与開始。使用6時間半後、異常言動発現し、5分程度で回復。	異常以外-22	
65	B-07023490	女性	11歳	20 mg		譫妄	回復	詳細不明	異常以外-23	08/04/01以降 追加報告
66	B-08026176	男性	11歳	投与量不明		幻覚 異常行動	回復 回復	服用1日目、2日目に、家に帰る等の幻覚を思わせるような言葉を発した。布団を叩くような仕草もあり。		08/04/01以降 新規報告
67	B-08027683	男性	11歳	投与量不明	アセトアミノフェン	悪夢 睡眠時麻痺	不明 不明	37～38℃の発熱、足が痛い、クラクラするという症状があり受診。A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕食後、本剤1回目吸入。ボールを投げつけられるという悪夢と金縛りのような感じがあり起きてきた。服用2日目、熱は下がった。昼寝をさせたところ今度は高い所から落ちるという悪夢を見たとのこと。医師に相談し、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
68	B-08027962	男性	11歳	20 mg	アセトアミノフェン セフトレニドキシム 塩酸アンブロキシール 塩酸フェキソフェナジン フェンゾ酸クロベラスチン	異常行動	軽快	耳鼻科でセフトレニドキシム、塩酸アンブロキシール、塩酸フェキソフェナジン、フェンゾ酸クロベラスチンが処方されていたが、インフルエンザ様症状が発現し、受診。ザナミビル水和物等処方。本剤服用開始。服用3日目、大声を出したり、笑い出す、布団を跳ね除けるといった行動をとり、急患センターを受診。本剤終了。服用開始から4日目、朝、症状は軽快。		08/04/01以降 新規報告
69	B-08028348	女性	11歳	20 mg	アセトアミノフェン	幻覚	回復	体温39℃。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。服用1日目、未明、突然起き出し、ふすまの方を見て笑い出し、「お姉ちゃんたちがいる」と発言。その時の熱は高かった。母親が声をかけてそのまま寝た。		08/04/01以降 新規報告
70	B-08029575	男性	11歳	10 mg		意識変容状態	軽快	発熱あり。インフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。服用3日目、解熱、傾眠がちでうごことあり。服用4日目、受け答え悪く様子おかしい。夜間、受診し、本剤中止。本剤中止から3日目、様子変わらないため、再診。インフルエンザ脳炎の疑いにて入院。場所、月日が分からず、インフルエンザ罹患後の記憶がないようだった。傾眠あり。本剤中止から4日目、活動性改善し、外来管理。自宅にて家人と話すうちに現実感を取り戻しつつあった。		08/04/01以降 新規報告
71	B-08031474	男性	11歳	20 mg		意識変容状態	回復	ザナミビル水和物服用1日目、夜、母親に暴言をはいた。その後、就寝。		08/04/01以降 新規報告
72	B-08031644	不明	11歳	10 mg		譫妄	不明	ザナミビル水和物吸入後、うわごとを言ったので、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
73	B-08031783	女性	11歳	20 mg	鎮咳配合剤(1)	幻覚	回復	体温38.1℃、インフルエンザにて、ザナミビル水和物服用。服用2日目、3日目、風船が飛んでいると保護者に報告した。服用4日目、幻覚症状消失。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

例	性別	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢
74	B-06026546	女性	12歳	10 mg	アセトアミノフェン セラペブターゼ リン酸ジメモルファン 塩酸アムロキソール	異常行動	回復	インフルエンザA型でザナミビル水和物を吸入。本剤吸入し約2時間半後、眼が上転気味になり、臥位から坐位へ移行し、立ち上がろうとする動作を繰り返す、手を首の所へ持っていき、指でかきむしるような動作も起こす。その後、体を少し硬直させて意味不明な言葉を発した。	異常以外-25	
75	B-07023807	女性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入して休む。夜半に急に大声で叫び、暴れる。手は強直状態。両親で抑えつける。約3分間。本人は全く記憶なし。 服薬2日目、朝、夕 本剤吸入。異常なし。	異常以外-26	
76	B-07024518	女性	12歳	20 mg	リン酸ジメモルファン セラペブターゼ クラリスロマイシン イブプロフェン カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニラミン ビフィズス菌製剤	幻聴 視覚障害	軽快 軽快	ザナミビル水和物服用1日前、体温39.6℃。熱っぽさ、筋肉痛自覚し、受診。リン酸ジメモルファン、カルボシステイン、セラペブターゼ、d-マレイン酸クロルフェニラミン、クラリスロマイシン、イブプロフェン処方され、服用。夕方より、ピントが合わない、焦点が合わないといった視覚症状が発現。 翌朝、臨床症状より、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。本剤1回目吸入約2時間後、頭の中に人の声が聞こえ、人が騒ぐ感じが発現。夕、本剤2回目吸入。		08/04/01以降追加報告
77	B-08026497	女性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。午前中、本剤初回吸入した。夜、本剤2回目吸入1時間後、棒のような物が自分の方に向かって飛んでくる、枕元にころがっている、何本もと訴える。症状発現から約30分後、うとうとする。明け方、母親に向かって、お母さんが死んじゃった、と号泣。数分でしずまる。症状発現から約30分後、うとうとする。 以後、発熱もなく、異常症状もなく、順調に経過し治癒。		08/04/01以降新規報告
78	B-08026805	男性	12歳	10 mg	カルボシステイン 塩酸アムロキソール 塩酸プロカテロール	落ち着きのなさ 異常行動	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日前、インフルエンザ発症。 服用1日目、朝、体温39.2℃。昼、本剤初回吸入してから約20分後、突然走り出しソファに向かい、「何でお母さんがいるの？」等、理解不能な発言あり。本人に記憶はない。夕、ねぎをにぎりしめ、じーと見つめる行動あり。 服用2日目、朝、寝ていたが急に起床し、「ぼくが64円払って、お母さんが44円払ったんだからいいでしょ」、「ゲームを置いたんだから帰る」等の発言あり。サークルベッドから降りようとする行動があり、柵をよじ登ろうとしていた。		08/04/01以降新規報告
79	B-08027364	男性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	悪心 嘔吐 激越 幻覚 落ち着きのなさ	不明 回復 回復 記載なし 記載なし	ザナミビル水和物処方され、服用開始。朝、本剤初回吸入。昼食後、本剤吸入後、吐き気、嘔吐、興奮状態、幻覚があるようで、じっとしていられない状態となった。薬局に連絡したところ、服用をやめ医師に連絡・受診のうえ指示をおおぐよう諭す。 服用3日目、朝、1日で解熱、吐気の発現も1回のみ。本剤は同日まで継続服用したが、その後、副作用と思われる症状はなし。		08/04/01以降新規報告
80	B-08027685	男性	12歳	20 mg		幻覚 譫妄	回復 回復	38.6度の発熱にて受診。インフルエンザ陽性のため、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼、本剤1回目吸入。夕、本剤2回目吸入約2時間後、幻覚が発現。その後、就寝。2回目吸入約4時間後、深夜、睡眠時、突然大声で叫びだした。約1時間継続し、再度、就寝。翌日、起床時には普通の状態。本剤中止。		08/04/01以降新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

症例No.	性別	年齢	用量	薬剤名	症状	経過	経過	経過	経過	経過
81	B-08027954	女性	12歳	20 mg	イブプロフェン	意識変容状態	回復	39.1℃の発熱あり、受診。インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物処方され、服用開始。朝、夕、本剤吸入し、就寝。服用2日目、早朝、気分不良で起床。1分後、階段を降りようとして転落。転落後、記憶なし。脱力。転落直後、トイレに行き、顔面蒼白。嘔気があった。同日午前中には、解熱し、症状改善。その後も本剤継続(計10回服用)。		08/04/01以降新規報告
82	B-08028089	女性	12歳	20 mg	ドーマレイン酸クロルフェニラミン 塩酸エブラジノン	痙攣 譫妄	回復 回復	体温38.6度。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物等処方。服用2日目、夜、吸入約2時間後、体温37度。痙攣、うわごと発現。特に処置なく帰宅。		08/04/01以降新規報告
83	B-08028844	女性	12歳	20 mg		意識消失 異常行動 鼻出血	不明 不明 不明	1、2回目のザナミビル水和物吸入2時間後、意識消失、鼻出血あり。3回目の吸入2時間後、畳をたたく等の行為、暴れるといった行動が発現。熱は高熱であった。リン酸オセルタミビルでは問題なかった。		08/04/01以降新規報告
84	B-06025267	女性	13歳	20 mg	セラベプターゼ 塩酸アンブロキシール	衝動行為 激越 痙攣 構語障害	回復 回復 回復 回復	インフルエンザで、ザナミビル水和物投与開始。投与2時間後、覚醒し、興奮、発作出現。落ち着いてから、異常発語継続。	異常以外-27	
85	B-07020645	女性	13歳	20 mg	アセトアミノフェン	幻覚 自殺念慮	回復 回復	インフルエンザキットでA型陽性。ザナミビル水和物処方され、昼・夕、本剤10mg吸入。深夜、幻覚、自殺念慮出現。すべての物がゴミに見えた。母親もゴミに見え、自分も含み必要ないものと思え、死のうと考えた。明け方頃に回復、就寝。服薬2日目、昼頃、起床。幻覚出現し、約30分間症状は継続したのち回復。	異常以外-28	
86	B-08023847	女性	13歳	20 mg	ロキソプロフェンナトリウム ホスホマイシンカルシウム	失見当識 意識消失	回復 回復	39℃台の発熱あり、受診。インフルエンザA型陽性で中耳炎合併疑われ、ザナミビル水和物、ロキソプロフェンナトリウム、ホスホマイシンカルシウム処方。午後、夜、本剤吸入。服用2日目、朝、嘔吐、下痢発現1時間後、本剤吸入。嘔吐、下痢のため受診。体温40.5℃。受診中、意識消失発現。すぐ回復するも、見当識障害あり。脳波、血液検査、頭部MRIに異常なし。脳症は否定され、点滴処置のうえ、経過観察。体温38.7℃。見当識障害、次第に回復。服用開始から3日目、朝、体温36.9℃。意識は回復し、退院。		08/04/01以降新規報告
87	B-08026499	男性	13歳	20 mg		異常行動	回復	38度の発熱にて受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤吸入後すぐ立ち上がって、運動しなければという妄想にかられて足をバタバタさせていた。服用2日目、夜、本剤吸入後、眼がうつろで、「どうしたんだ」と尋ねても、正常な応答ができなかった。急におきあがって、左足がふるえて、おさえていないととまらなかった。会話にもならず、何をやっているかわからない状態だった。		08/04/01以降新規報告
88	B-08028086	女性	13歳	20 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシール 耐性乳酸菌製剤(3)	意識変容状態	回復	体温38度。翌日受診し、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物吸入開始。服用3日目、解熱。本剤終了。服用終了3日後、学校へ登校後、倒れた。服用終了4日後、回復。		08/04/01以降新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	症例番号	性別	年齢	投与量	投与薬	症状	経過	経過	経過	経過
89	B-08028722	女性	13歳	20 mg		意識レベルの低下 無力症 蒼白	回復 回復 回復	38.1℃の発熱あり、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕、本剤吸入約10分後、気分が悪くなり、脱力が発現。顔面蒼白、意識レベルの低下がみられた。「だいじょうぶですか?」と呼びかけても返事をせず、眼を閉じたままであった。吸入約15分後(事象発現5分後)、脈は約80/分であり、すぐに意識回復。吸入約25分後(事象発現15分後)、休んだところ顔面も良好な色となり、起立して歩けるようになった。		08/04/01以降 新規報告
90	B-08029858	女性	13歳	20 mg		記憶障害	軽快	受診日と同日より、ザナミビル水和物服用開始。午後、軽度の意識レベルの低下が発現。 服用2日目、午前中、軽度の意識レベルの低下が発現。夜、異常行動、記憶障害が発現。 服用3日目から4日目、午前中、午後、軽度の意識レベルの低下が発現。服用5日目、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
91	B-08032017	不明	13歳	投与量不明	イブプロフェン カルボシステイン	異常行動	回復	詳細不明		08/04/01以降 新規報告
92	B-06026799	男性	14歳	10 mg	ヒベンス酸ペピジン 麻黄附子細辛湯 クラリスロマイシン アセトアミノフェン 塩化デカリニウム	意識変容状態 幻覚	軽快 回復	インフルエンザBと診断され、ザナミビル水和物等服用開始。投与2日目の夜、幻覚出現。投与4日目の夜、玄関のドアの前にふらふらと立っていた。その後入眠、その30分後、突然目を覚まし、幻覚出現、取り付かれたようにバランスボールを手で5-6分ついてその後入眠。投与5日目、軽度意識障害あり、傾眠がちのことで入院。脳のCT、MRI、脳波、血液を行い、インフルエンザ急性脳症の疑いなし。	異常以外-29	
93	B-08024168	男性	14歳	20 mg		失神	回復	インフルエンザ陽性にてザナミビル水和物を処方。本剤1回目を吸入直後、5分程度失神し回復。薬剤との因果関係はないと判断し、継続して本剤を吸うように指示される。2回目吸入後は失神する事もなく、インフルエンザ回復。		08/04/01以降 新規報告
94	B-08027295	男性	14歳	投与量不明		意識変容状態 大発作痙攣	軽快 軽快	ザナミビル水和物服用4日目(解熱から2日目)、応答がおかしくなってきた20分程してから全般的強直間代発作が5分間起こり、経過観察入院。		08/04/01以降 新規報告
95	B-08027368	女性	14歳	投与量不明		痙攣	不明	インフルエンザのため、ザナミビル水和物処方され、同日より5日間服用。服用開始から6日目、熱が下がったので、登校するも、登校中に痙攣が発現し裂傷を負ったため、救急搬送された。今まで同様の症状の発現はない。		08/04/01以降 新規報告
96	B-06025365	女性	15歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン	痙攣	回復	A型インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物投与。投与2日目使用後、意識消失し、間代性けいれんが1分間続いた。	異常以外-30	
97	B-08031778	男性	15歳	20 mg	セフトレキシム アセトアミノフェン	落ち着きのなさ	回復	ザナミビル水和物服用1日目、昼、体温38.5℃。本剤吸入。夕、本剤吸入約1時間後、じっとしてられない感じになる。症状は約1時間で消失。服用開始から2日目以降、上記のような症状はなし。発熱もないため、本剤服用せず。 服用開始から3日目、夕、体温37.7℃と発熱を認め、本剤吸入。異常行動は発現せず。 服用開始から4日目、朝、再診し、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

例	薬剤名	性別	年齢	用量	薬剤名	症状	経過	経過	経過	経過	経過
98	B-07008920 (B00-13440)	男性	16歳	20mg	キョウニン水 オウヒエキス ヒベンズ酸チペピジン	激越	回復	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物投与開始。突然、感情が高ぶり、激越状態となる。家の中にいると何かを壊したくなり、外を歩き回っているうちに症状が治まった。	異常以外-31		
99	B-07008921 (B02-03791)	女性	16歳	20mg	アセトアミノフェン 塩酸エブラジノン ジョサマイシン	鎮静	回復	インフルエンザでザナミビル水和物投与3日目、頭がボーとする。脳CTにて異常なし。	異常以外-32		
100	B-08026811	男性	16歳	20 mg	クラリスロマイシン 塩酸エブラジノン カルボシステイン トラネキサム酸	幻覚	軽快	A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕方、本剤吸入後すぐに幻覚発現。幻覚は約36時間継続。服用2日目、朝、夕、本剤吸入。服用3日目、医師より本剤中止の指示あり、同日より、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告	
101	B-08027678	男性	16歳	20 mg		幻覚	回復	受診時、体温38℃、鼻水、咳、咽頭痛あり。インフルエンザウイルス抗原精密測定でA型の反応あり、ザナミビル水和物処方。本剤吸入直後、幻覚発現し、個室に隔離し監視したところ、約30分で幻覚消失。30分過ぎより次第に正常に戻った。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告	
102	B-07008100 (B00-12745)	女性	17歳	5mg		意識消失	回復	症状よりインフルエンザと診断。1ブリスター吸入後、容器を片付けている途中に、突然、バタンと床に倒れ、10秒程度意識を失った状態。30分後の再診時、患者は虚脱、皮膚の冷感・蒼白、チアノーゼ、血圧低下が認められた。意識障害はなく回復した。	異常以外-33		
103	B-07026093	男性	17歳	投与量不明	非ピリン系感冒剤(4) ロキソプロフェンナトリウム 解熱鎮痛消炎剤	精神症状 精神症状	回復 不明	A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。服用3日目、主に性的な内容のことを大声で叫ぶなどの精神症状発現。翌日より学校の修学旅行を控えていたため、近医内科にその可否を相談。本剤中止。服用開始から4日目(修学旅行当日)、未明より、旅行準備を始めるが、目がうつろで、明らかにいつもと異なることに気づいた母親が、修学旅行参加を断念させた。	異常以外-34	08/04/01以降 追加報告	
104	B-08005354	男性	17歳	20 mg	非ピリン系感冒剤(4) セフジニル ベタメタゾン・d-マレイン酸クロ ルフェニラミン 非ピリン系感冒剤(4) ロキソプロフェンナトリウム プラノプロフェン	幻覚 妄想	軽快 軽快	ザナミビル水和物服用1日前、感冒症状発現。体温38℃台。非ピリン系感冒剤、セフジニル、ベタメタゾン・d-マレイン酸クロルフェニラミン服用にて解熱。翌日、キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入。ボーっとして生気がなく、服用1日目以降は、38℃を越える発熱はないが、3日間反応鈍く、傾眠傾向。服用2日目、インフルエンザ改善により本剤終了。服用終了から3日目、朝から「エイリアンがいる」等の幻覚妄想状態発現。不眠。服用終了から16日目、髄液圧上昇以外は異常なし。服用終了から20日目、入院。服用終了から約3ヵ月目、精神神経科退院。		08/04/01以降 新規報告	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	例	性	年齢	一日用量	投与薬	症状	経過	経過	経過	経過
105	B-08031463	男性	18歳	10 mg	アセトアミノフェン セラベプターゼ レバミピド 臭化水素酸デキストロメトルファン	不安 多幸気分 耳鳴 落ち着きのなさ	回復 回復 回復 回復	発熱のため、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕、本剤吸入し、就寝。約1時間30分後、覚醒したが不安感が強く、意識が高ぶる、じっとしていられない、耳鳴が強い、ゆっくりと動作ができない等の症状が発現。自分でも恐いと思った。症状は約10分継続し、自然消失した。その後、本剤中止し、同症状の再発現なし。		08/04/01以降 新規報告
106	B-08025879	男性	19歳	10 mg		意識消失	軽快	昼頃、ザナミビル水和物を吸入した。約2時間半睡眠をとった後、数秒の意識消失が2回あり。救急車にて病院に搬送された。来院時は、意識清明であった。		08/04/01以降 新規報告
107	B-08031174	男性	19歳	40 mg	ロキソプロフェンナトリウム	意識消失	回復	ザナミビル水和物服用1日前、38.3℃発熱あるも、キットにてインフルエンザ陰性。翌日、キットにてインフルエンザB型の診断にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。服用2日目、体温38℃台。本剤吸入後、意識消失(約10秒)が発現。		08/04/01以降 新規報告
108	B-08026724	不明	10歳代	投与量不明	塩酸ツロプロテロール d-マレイン酸クロルフェニラミン	幻覚 振戦	不明 不明	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物等処方。同日、服用開始。幻覚のような症状が見られた。腕が震えたりしているが、併用薬のうちの薬が原因かわからない。翌朝、体温は39℃から37.4℃まで下がった。		08/04/01以降 新規報告
109	B-07027359	男性	20歳	20 mg	麻黄湯 クラリスロマイシン カルボシステイン ピペラシリンナトリウム 乳酸リンゲル液	異常行動	回復	服薬1日目、キャピリアテストにて、インフルエンザA型ウイルス感染と診断。外来受診時に、明らかな神経学的異常所見は認められなかった。外来にて、ザナミビル水和物吸入し帰宅。服薬2日目、朝・夕吸入。夕食後、話しかけても返答なく、部屋の隅に壁を見つめてぼっとしていた。無反応な状態(呼びかけても声をださない)がしばらく続いた。副作用発現後の本剤の吸入なし。服薬中止1日後、異常行動は回復した。	異常以外-35	
110	B-07023803	男性	21歳	20 mg	リン酸コデイン カルボシステイン	異常行動	回復	服薬1日目、キットにてA型インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物を処方。深夜、母親の部屋へ行き、ふわふわした感じと携帯電話を大きく感じ、気持ち悪くなるという症状を認めた。服薬2日目、異常行動回復。本剤中止。	異常以外-36	
111	B-08026966	女性	21歳	20 mg		意識変容状態 痙攣	軽快 軽快	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤吸入し、就寝。服用2日目、腹痛のために目覚め、トイレに行こうと歩いていると数秒間、手足が硬直し、ひきつけをおこす。その後、トイレに行き横になったところ、白目をむいて痙攣し、意識を数分失ったため、すぐに救急車搬送される。来院時には意識もはっきりしており、熱も下がっていたため、補液のみにて処置。補液後、特に問題見られず、医師の判断により帰宅。		08/04/01以降 新規報告
112	B-08028350	男性	21歳	20 mg	アセトアミノフェン	意識消失	回復	37.7℃の発熱あり、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。夕方、本剤吸入後、意識消失をきたし、救急車搬送。30～60分経て意識がなく、家族があわてて救急車を呼んだとのこと。本剤による有害事象を疑い、以後、本剤中止。服用開始から4日目、再診時、普段と変わらない様子であった。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	製剤名	性別	年齢	用量	投与薬	副作用	経過	経過	経過	経過	経過
113	B-07008922 (B024073)	女性	23歳	20mg	臭化デキストロメトर्फアン・クレ ゾールスルホン酸カリウム 塩酸アムロキソール	失神 全身性尋麻疹	回復 回復	インフルエンザにて、ザナミビル水和物投与2日目、失神、尋麻疹発現。	異常以外-37		
114	B-07010426 (B02-1506)	女性	23歳	20mg	塩酸セフカペンピボキシル 非ピリン系感冒剤 シメトリド・無水カフェイン 臭化水素酸デキストロメトर्फ アン ロルノキシカム ジクロフェナクナトリウム フェンジソ酸クロベラスチン	口内炎 感覚鈍麻 嘔吐	回復 回復 回復	服用開始日、嘔吐が出現。翌日、多発性口内炎、手指しびれ感が発現。	異常以外-38		
115	B-08027530	女性	27歳	20 mg	セフジニル クエン酸ベントキシベリン カルボシステイン アセトアミノフェン	感覚鈍麻 ショック 失神	回復 回復 回復	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 朝、本剤吸入後、四肢のしびれあり、臥床。しばらくして回復。夕方の吸 入について問い合わせあり、来院して吸入するよう指示。夕方、再度来 院し、本剤吸入。少ししびれあるが、朝より軽いとのこと。症状軽く、帰宅 可能の指示した直後、パタンと音がし、トイレの近くで倒れていた。失神 認め、脈触知せず、点滴処置を施行し、直後に回復。		08/04/01以降 新規報告	
116	B-08027858	女性	27歳	投与量不明	臭化水素酸デキストロメトर्फ アン アセトアミノフェン	意識消失 頭痛 悪心 嘔吐	回復 不明 不明 不明	ザナミビル水和物服用1日前、36.7℃の発熱にて受診し、臭化水素酸デ キストロメトर्फアン、アセトアミノフェン処方。 翌日、37.4℃の発熱にて再診し、インフルエンザA型と診断され、ザナミ ビル水和物処方。本剤投与開始。 服用2日目、夜、本剤吸入約4時間後、意識消失発現(2、3分)。その後、 頭痛、悪心、嘔吐発現。 服用3日目、症状は落ち着く。		08/04/01以降 新規報告	
117	B-08028615	女性	29歳	20 mg	イブプロフェン 塩化リゾチーム フェンジソ酸クロベラスチン メキタジン	髄膜炎 脳炎 異常行動	軽快 軽快 不明	40℃を超える発熱あり、受診。インフルエンザの診断にてザナミビル水和 物等処方。同日、服用開始。 服用2日目、夕より、見当識障害、下痢発現し、徐々に増悪したため、救 急搬送され、入院。本剤中止。 発現日不明だが、異常行動の発現あり。 服用開始から8日目、症状が徐々に緩和。退院。		08/04/01以降 新規報告	
118	B-07007933 (B01-01086)	女性	31歳	20mg	非ピリン系感冒剤 塩酸アムロキソール ボビドンヨード リン酸ペンプロベリン	低体温 浮動性めま い	回復 回復	インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物投与。投与開始2日目夕方、 体温下降(34.8℃)、悪寒、めまい出現。投与開始3日目、本剤吸入30分 後位から体温下降するため、本剤中止。その後も35℃～35.3℃位で悪 寒とめまいが持続。	異常以外-39		
119	B01-12850	女性	32歳	20mg	麻黄湯	失神	回復	投与開始日、失神発現。	異常以外-40		

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	薬剤名	性別	年齢	用量	併用薬	副作用	経過	経過	経過	経過	経過
120	B-07009621 (B0002502)	女性	32歳	20mg	ロキソプロフェンナトリウム レバミピド 非ピリン系感冒剤	小脳性運動 失調	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物投与開始。翌日、解熱するもめまいが発現。投与3日目、インフルエンザ様症状消失し、本剤中止。その後、めまい消失。神経学的検査では指鼻試験により両側の測定障害が示された。両手の協調運動障害も明らか。ロンベグ検査陰性。症状、所見は小脳失調症を示した。本剤中止6日後、全ての神経学的症状消失。脳MRI検査正常。	異常以外-41		
121	B-07010498	女性	32歳	10 mg		口唇炎 口内炎 歯肉炎 口腔粘膜びらん 鼻粘膜障害 頭痛	軽快 軽快 軽快 軽快 軽快 軽快	インフルエンザにて、ザナミビル水和物処方。投与3日目、舌の違和感、鼻の違和感、口角の痛みあり、本剤吸入中止。翌日、頭痛、口内炎多発。	異常以外-42		
122	B03-01557	女性	37歳	20mg	クラリスロマイシン イブプロフェン ヒベンズ酸チペジジン ビフィズス菌製剤(4) 塩酸セフトリアム 塩酸セフカペンピボキシル	めまい感	回復	インフルエンザB型で、ザナミビル水和物投与。投与3日目、ふらつき、食欲不振、咽頭発赤。投与5日目、嘔気。本剤投与中止。投与中止3日後、注視方向性の眼振をみとめた。投与中止9日後、めまいは回復。	異常以外-43		
123	B-0201505	女性	38歳	20mg	ロキソプロフェンナトリウム	めまい	未回復	投与翌日、めまい発現。	異常以外-44		
124	B-06025745	男性	39歳	投与量不明	アセトアミノフェン	てんかん 異常感	回復 回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物服用開始。投与4日目、気分が悪くなり救急外来。救急搬送中にてんかん様症状(眼球上向き、四肢硬直あり)があった。	異常以外-45		
125	B-07008101 (B0102102)	男性	43歳	20mg		味覚異常	回復	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物投与開始。投与2日後、味覚の異常が出現し、本剤服用中止。投与中止10日後、味覚異常はほぼ回復。	異常以外-46		
126	B02-07176	男性	45歳	20mg	ベシル酸アムロジピン ニセリトール レボフロキサシン メシル酸ベタヒスチン ロキソプロフェンナトリウム ファモチジン	手足のしびれ	軽快	インフルエンザで、ザナミビル水和物投与。投与4日目、手足のしびれが発現。	異常以外-47		
127	B-08027679	女性	45歳	10 mg		悪心 意識レベル の低下	回復 回復	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物が処方された。1回吸入後、吐き気がし、ベッドから落ちて気づかないほど意識がもうろうとした。			08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	症例番号	性別	年齢	用量	処方薬	症状	経過	経過	経過	経過
128	B-08028842	男性	48歳	20 mg	アセトアミノフェン 塩酸エブラジノン	幻覚	回復	体温38.3℃。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、昼、夕、本剤吸入。深夜、目を閉じると灰色の矢印が下から上へ飛んでいくのがたくさん見えるといった幻覚が発現。閉眼すれば見えなくなる。 服用2日目、昼、幻覚症状軽快。本剤吸入は指示通り継続。		08/04/01以降 新規報告
129	B-08027853	女性	57歳	20 mg	葛根湯 アセトアミノフェン	失神	回復	体温37.8度あり受診するが、インフルエンザ検査陰性。翌日、再度受診し、B型インフルエンザ陽性と診断され、ザナミビル水和物処方開始。 服用2日目、朝、本剤吸入後、2回失神が発現。同日夕、本剤吸入。 服用3日目朝、本剤吸入後、失神発作にて転倒し、頭部打撲。脳検査等では異常なし。		08/04/01以降 新規報告
130	B-08028087	女性	61歳	20 mg	フレロキサシン メフェナム酸 臭化水素酸デキストロメトर्फアン セラベプターゼ	幻聴	回復	体温36.2度あり、ザナミビル水和物吸入開始。 服用3日目、夕方、本剤吸入。本剤吸入8時間後、就寝。体温36.5度。同日、本剤吸入11時間後、睡眠時、幻聴発現。体温36.5度。		08/04/01以降 新規報告
131	B-08030756	女性	65歳	20 mg		意識消失	不明	咳、くしゃみ、37.7℃の発熱、頭痛にて、受診。検査にてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 本剤吸入直後より気分不良となる。意識が朦朧(1～2分後)となり倒れる。うつ伏せの状態、嘔吐を伴う。呼名により返事あり。吸入約30分後、意識混濁の状態のため、救急搬送され、救急外来到着。吸入約40分後、立てて歩くことが可能となり、帰宅。 帰宅後も身体がだるく、2～3日は横になっていた。		08/04/01以降 新規報告
132	B-05024195	女性	66歳	20mg	鎮咳配合剤(1) セラベプターゼ アズレンスルホン酸ナトリウム・ レグルタミン ドンペリドン 臭化水素酸デキストロメトर्फアン リン酸オセルタミビル 維持液(3) チアミン・アスコルビン酸配合剤	嗅覚錯誤	未回復	インフルエンザA型の診断、ザナミビル水和物投与。翌日から嗅覚が弱くなってい、投与開始3日目には鼻閉感あり、嗅覚消失。本剤中止後、右側のみ回復し、左側は未回復。	異常以外-48	
133	B-08027852	女性	70歳	20 mg	シクレソニド ツロプテロール モンテルカストナトリウム	幻覚 傾眠	軽快 軽快	ザナミビル服用1日目、夜間、本剤吸入後、色々な動物が見える幻覚が発現。 服用2日目、本剤を吸入するも、幻覚の発現なし。 服用3日目、本剤吸入後、再度動物が見える幻覚が発現したため、自己判断にて、本剤中止。体温38℃あったが、解熱していた。		08/04/01以降 新規報告
134	B-08027375	女性	75歳	20 mg	麻黄湯 ヒベンス酸チベピジン アセトアミノフェン 塩酸プロムヘキシシ	幻覚	回復	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用3日目、朝、夜、本剤吸入。夜、寝つく前に幻覚発現。完全に寝付くと消失。 服用4日目、朝、夜、本剤吸入。夜、再び寝付く前に幻覚が発現。本剤、麻黄湯服用中止。 服用開始から5日目、夜、幻覚の発現なし。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	薬剤名	性別	年齢	投与量	併用薬	症状	経過	経過	経過	経過
135	B-03012403	女性	79歳	20 mg	ベンチルヒドロクロチアジド・レセルピン配合剤 マレイン酸フルボキサミン シンバスタチン ファモチジン アズレンスルホン酸ナトリウム・ レーグルタミン 酸化マグネシウム フルニトラゼパム ニコチン酸トコフェロール アロプリノール ナブメトン フェンジソ酸クロベラスチン 塩化リゾチーム	幻覚	回復	インフルエンザA型の診断、ザナミビル水和物投与。投与開始4日目から5日目まで幻覚出現したため、全ての薬を中止。中止後より落ち着いた様子だが、まだ少し興奮気味。	異常以外-49	
136	B-08028843	女性	90歳	20 mg		低血糖症 譫妄 振戦	不明 不明 不明	家族がインフルエンザを罹患したため、予防投与としてザナミビル水和物を吸入。 本剤吸入3回目、低血糖症状が発現。また、地震は起きていないのに「地震や」と言ったり、足が震えたりした。		08/04/01以降 新規報告
137	B-08027105	男性	94歳	20 mg		譫妄 絶叫 浮動性めまい 浮動性めまい 異常行動	回復 回復 不明 不明 回復	ザナミビル水和物服用1日目、本剤1回目吸入後、ふらつき、めまい発現。 服用2日目、ふらつき等の症状が強くなり、せん妄、咆哮がみられた。36℃台に解熱しても、本剤吸入後は暴れたりしたために、かかりつけの精神科を受診。肺炎を併発し、点滴治療。せん妄状態。 服用3日目、精神科受診。せん妄状態。 服用4日目、本剤中止。 服用開始から5日目、改善が見られず入院。リン酸オセルタミビル、フマル酸クエチアピン、リスベリドン、シロドシン、セフピロム、補液等、精神科領域を中心とした治療を開始。 服用開始より12日目、せん妄は消失し、その後、退院。		08/04/01以降 新規報告
138	B-08026807	不明	10歳未満	投与量不明		幻覚 幻聴	不明 不明	ザナミビル水和物吸入後、壁が迫ってくるような幻覚や幻聴がある。以前から熱が高くなるとそのような症状が出てきていた。 今回、本剤吸入後に同じ症状が出ている。 本剤を吸入したら幻覚などの症状が出た。		08/04/01以降 新規報告
139	B-08026608	女性	不明	投与量不明		睡眠時麻痺	不明	インフルエンザにてザナミビル水和物処方。 本剤吸入後、すぐに金縛りになった。それ以降、怖くなって、本剤を吸入していない。		08/04/01以降 新規報告
140	B-08027369	男性	不明	投与量不明		顔面感覚鈍麻 顔面神経麻痺 顔面痛	回復 回復 未回復	ザナミビル水和物服用5日目、本剤吸入約30分後、目、鼻の周りにしびれ、顔の右半分のみ麻痺が発現。 しびれ、麻痺は治まったが、ズキズキする痛みが残り、右半分だけ枕に顔もつけられないほどである。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

事例No.	患者ID	性別	年齢	投与量	投与期間	副作用	経過	経過	経過	経過	経過
141	B-08028347	不明	不明	投与量不明		転倒・転落 多汗症 意識レベル の低下 浮動性めまい 譫妄	不明 不明 不明 不明	学校で発熱。ザナミビル水和物処方。病院にて説明を受けながら吸入していた直後、倒れ、汗をかき、意識が朦朧とし、めまいが発現。「早く帰ろう」といつもと違う口調でうわごとのようなことも言っていた。倒れた時に、隣に母親がいなかったら頭を打っていたと思う。しばらくして回復し、その後は食欲もあり平気。医師に本剤を続けるほうがいいのか相談すると、夜続けた方がいいと言われた。		08/04/01以降 新規報告	
142	B-08029028	男性	不明	20 mg		幻覚 幻視	軽快 軽快	インフルエンザのため、ザナミビル水和物処方。同日、幻覚、幻視が発現。服用2日目、受診。リスペリドン処方し、幻覚が続くようなら服用するよう指導。		08/04/01以降 新規報告	
143	B-08029203	男性	不明	投与量不明		意識消失	不明	ザナミビル水和物初回吸入後、しばらくして意識がなくなり救急搬送された。		08/04/01以降 新規報告	
144	B-08030415	男性	不明	投与量不明		幻覚	回復	インフルエンザ診断時の体温39℃。壁が透き通ってとなりが見えるといった幻覚が発現。幻覚発現時の体温39℃。		08/04/01以降 新規報告	